

7月中半を過ぎたのに、この先の天気予報は雨マークばかりだ。小笠原高気圧に頑張ってもらうしかない。雨の日など一人の登山者にも行き会わない。この時期は花が少なく普通に歩いていると目に入らない。が、よく見るといくつか見つけることができる。



イチヤクソウ



クモキリソウ



ヤブレガサ



ウメガサソウ



クジャクチョウ



コムソウ



ホウキダケ



ヤマドリダケ



ハナイグチ



テングダケ(毒)



下の4コマはこの間入笠山で



アツモリソウ



ニツコウキスゲ



ノハナショウブ



エンビセンノウ

雨の多い年は梅雨の時期にキノコが出てくる。登山道にはいくつもキノコが捨ててある。捨ててあるから良いものの、こんな毒キノコに手を出すなどちょっと心配である。もちろん食べれるキノコもあり、今夜コムソウの肉鍋としよう。

蝶は写真嫌いなのか近づくと察知して飛び立ってしまう。蜜に夢中だったのかこんな写真が撮れることがあり、嬉しくてつい一杯余計に飲んでしまう。

雨で石や木の根が濡れていると、靴の底が非常に滑りやすい、お金は落ちていないが足元注意である。そこに思わぬ花が咲いていることがある。